東北電力グループの皆さん へ

「安全最優先の企業グループ」を目指して

2022年度がスタートいたしました。

昨年度は，東北電力グループ中長期ビジョン「よりそう next」で掲げる『安全最優先の企業文化の構築』を目指し，各職場・現場で様々な工夫を凝らしながら，労働安全に関する意識高揚・行動定着への取り組みを進めていただき感謝申し上げます。その成果は徐々に現れてきているものと受け止めています。

しかしながら，昨年度の東北電力・東北電力ネットワーク2社合計の労働災害発生状況を見ると，請負工事，委託業務上での災害が増加し，総被災者数は**2020年度を上回る**状況となっております。また，昨年12月には，請負工事において**墜落による死亡災害が発生**し，ともに働く大切な仲間の尊い命が失われました。

加えて，重傷災害についても依然高止まりの状況にあり，重大災害に直結する「墜落」や「感電」による災害も後を絶たず，**まさに非常事態**と言わざるを得ません。

このため，今年度はグループ一丸となって，この状況を打破すべく，これまで以上に強い決意で取り組んでいく必要があります。

1998年以降，24年間連続して発生している**死亡災害を必ずや断ち切る決意**をすべての関係者が一段と強く持つため，今年度，東北電力・東北電力ネットワーク両社の「安全推進方針」の全社目標を**『死亡災害ゼロ必達』**といたしました。また，それを達成するためには，特に死亡災害の一歩手前である「重傷災害」・「墜落・感電災害」を徹底的に撲滅していくことが必要です。

皆さんには，**「東北電力グループ安全・保安方針」**で示している内容を，今一度**確認**いただき，これを**自分事**として捉え，労働安全に対して**何をすべきか**を常に考えながら，**熱意**を持った**具体的な行動**をお願いします。

そして，東北電力グループの従業員，工事・作業に携わるすべての方々が，それぞれの役割と責任を自覚し，これまで以上に**『イコールパートナー』**として，①仲間に対する**思いやりや働きかけ**，②仲間を**お互いが守る**，③仲間との**積極的な情報共有**を行い，労働災害のない，活気あふれる職場をともにつくりあげて参りましょう。

以 上

2022年 4月 1日

東北電力株式会社
取締役社長 社長執行役員

樋口 康二郎

［東北電力グループ安全・保安方針］

2020年 4月1日 制定

東北電力グループ安全・保安方針

私たちは，「気づく・話す・直す」の３つの視点で法令・ルールを遵守し，たゆまぬＰＤＣＡ活動を行うことにより，継続的に安全と保安を確保することを決意し，東北電力グループ安全・保安方針を定める。

１．常に安全確保を最優先に行動する。

２．立ち止まる勇気を持つ。

３．常に問い直し，問いかける習慣を持つ。

４．自らの役割と責任を自覚し行動する。

５．コミュニケーションを常に心がけ，情報を共有する。